

- ・プラスチックを集めて何かを作ってみたい。
- ・世界のごみは、洋野に比べてどれくらいか。
- ・ごみを拾うと、海にどんな変化が表れるのか。
- ・プラスチックを紙製品にすることはできるのか。
- ・世界に、マイクロプラスチックがあるのか。
- ・海の中のごみの量はどれくらいあるのか
- ・ごみ拾いに参加してごみをなくしたい。
- ・磯焼けが減っているのか調べてみたい。
- ・どうやってごみを、他のものに変えているのか。
- ・海を汚すものは何か。
- ・海に流すと危険なものは？
- ・世界中で磯焼けは起きているのか
- ・海の水面に浮かんでいるごみをとりたい。
- ・ボランティア委員会でやる。
- ・種小で使えるものはリサイクルする
- ・種市高校の人にインタビューする。
- ・一緒にごみ拾いをする。
- ・北三陸ファクトリーに使いそうな物をわたす。
- ・なぜ、ごみを捨てるのか
- ・なぜ、小さいプラスチックごみが多いのか。
- ・うにの養殖や、プラスチックごみを減らすこと以外で環境を守る方法はあるのか
- ・ウニのえさの作り方
- ・漁業の高齢化
- ・小さいプラごみのリサイクル
- ・プラゴミのリサイクル方法
- ・拾ったものを集める場所

ごみ関連	やってみたいこと	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・海岸のごみ拾い ・世界のごみの量 ・ごみの種類 	<ul style="list-style-type: none"> ・種高生へインタビュー ・ボランティア委員会で活動 ・ごみのリサイクル（遊具など） ・プラスチック製品を紙製品に変える ・北三陸ファクトリーに拾ったものを渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・磯焼けは減っているのか。 ・漁業の高齢化。 ・ウニのえさの作り方。

世界のごみの量
などについては
先生が教える。



- ・6年生のボランティア委員会で呼びかけて、木曜日の中昼に、旧江戸が浜にごみ拾いに行く。(5年生希望するボランティア委員、6年生は希望)
- ・普段使っているプラスチック製品を紙製品に変えられるものはないかを考えて作ったり、プレゼンしたりする。
- ・漁業の高齢化を防ぐ方法を考える。
- ・磯焼けを防ぐ方法を考える。

サミットに向けて

①実践発表(4名程度) 発表10分 質疑応答5分

発表方法は、写真を使って説明をする。(webカメラを今年も借りることが出来るのか確認する。)

*4人程度に教師から声をかける。

②「学びの深め合い」

実践発表の児童以外全員が行う。ワークシートに記入をして、自分なりの「キャッチコピー」を小パネルに記入する。

グループで、自分のキャッチコピーを提示し、テーマについて考えたこととその理由を伝え合う。

*発表やキャッチコピーがいい人4人に教師から声をかける⇒サミットで発表